



第 106 号

発行人

(一財) 福井県剣道連盟
会長 片山 外一

事務局

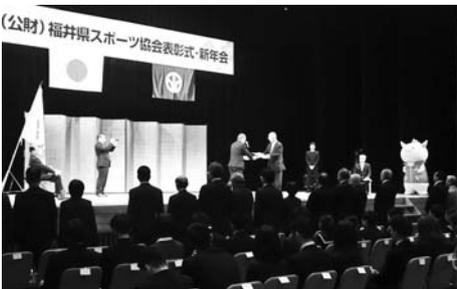
〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18
サンライズニの宮 1-B
TEL・FAX (0776)28-6616
メール fkiikendo@herb.ocn.ne.jp

片山外一会長

県スポーツ協会体育功労者賞を受賞

令和元年度の「公益財団法人福井県スポーツ協会 体育功労者賞」に、県内二十四団体二十八名の方が選ばれ、福井県剣道連盟から、片山外一会長が受賞されました。一月十七日に福井フェニックスプラザで行われた表彰式において、県スポーツ協会副会長の豊北県教育長から、受賞者

を代表し片山会長に表彰状が授与されました。



大会報告行事報告

福井県剣道連盟 剣道・居合道 初稽古

令和二年一月五日(日)

於 福井県立武道館

令和二年の福井県剣道連盟「剣道・居合道 初稽古」が、一月五日に福井県立武道館において開催されました。

県内各地区から、小学生、中学生、高校生、一般、計約一八〇名が参加しての稽古会となりました。

剣道は剣道大道場で、全員での素振りの後、一般の先生方が元に立つて小中高生が掛かる指導稽古、小中高生や一般同士の地稽古と、気合十分に稽古を行いました。

居合道は剣道小道場において、張



り詰めた空気の中、形の稽古など緊張感の溢れる稽古を行いました。参加者は今年一年の精進を誓い、気持ちを新たにしていきました。また、初稽古に先立ち、昨年十一月三日に全日本剣道連盟の剣道有功賞を受賞されました坂井地区剣道連盟会長 紺屋嶋三津男先生の伝達表彰式が行われ、片山会長から賞状と記念品が授与されました。

【全日本剣道連盟 剣道有功賞】

紺屋嶋 三津男

(坂井地区剣道連盟会長)



令和元年度 福井県中学校冬季剣道強化錬成大会

令和二年一月十八日(土)
於 敦賀市粟野スポーツセンター
一月十八日に敦賀市粟野スポーツセンターにおいて、男子31校、女子21校が参加し、「令和元年度福井県中学校冬季剣道強化錬成大会」が開催されました。結果は次のとおりです。

(男子の部)

男子準々決勝

中央中4(6) | 1(2) 森田中
明倫中4(7) | 0(1) 松陵中
気比中2(2) | 1(2) 武生第二中
藤島中2(4) | 1(3) 三方中
男子準決勝
中央中2(3) | 1(2) 明倫中
気比中2(4) | 2(3) 藤島中



男子3位決定戦
明倫中3(4) | 2(4) 藤島中
男子決勝
中央中3(4) | 0(0) 気比中

(女子の部)

女子準々決勝

中央中2(4) | 0(0) 大東中
松陵中3(5) | 0(1) 坂井中
鯖江中4(7) | 1(1) 成和中
明倫中4(7) | 0(0) 森田中
女子準決勝
中央中3(6) | 0(0) 松陵中
明倫中3(5) | 1(1) 鯖江中
女子3位決定戦
鯖江中2(4) | 1(3) 松陵中
女子決勝
明倫中1(2) | 0(1) 中央中



令和元年度福井県 高等学校冬季剣道選手権大会

令和二年一月十九日(日)
於 福井県立武道館
一月十九日に福井県立武道館において開催されました「令和元年度福井県高等学校冬季剣道選手権大会」の試合結果は次のとおりです。

男子団体

優勝 敦賀高校
二位 美方高校
三位 藤島高校
三位 北陸高校



女子団体

優勝 敦賀高校
二位 啓新高校
三位 美方高校

三位 敦賀気比高校



男女とも優勝が全国高等学校剣道選抜大会に出場
(全国高等学校剣道選抜大会は感染症拡大防止のため中止となりました。)

令和元年度 北信越高等学校剣道新人大会

令和二年二月一日(土)・二日(日)
於 富山県砺波市庄川体育センター
二月一日、二日に富山県砺波市庄川体育センターで開催されました「令和元年度北信越高等学校剣道新人大会」において、敦賀高校男子が三位入賞を果たしました。本県から男子四チーム、女子五チームが出場しました。試合結果は次のとおりです。

○男子団体予選リーグ

敦賀 2/2-1/1 東京学館新潟
敦賀 6/3-1/0 富山第一

(決勝トーナメント進出)

北陸 0/0-3/2 羽咋工業

北陸 6/4-0/0 砺波工業

(予選リーグ敗退)

工大福井 2/1-1/1 砺波

工大福井 2/2-3/2 新潟商業

(予選リーグ敗退)

敦賀気比 4/2-1/1 南砺福野

敦賀気比 0/0-3/2 長野日大

(予選リーグ敗退)



○男子決勝トーナメント

準々決勝

敦賀 3/2-1/1 富山工業

準決勝

敦賀 1/0-3/2 長野日大

三位 敦賀

○男子団体

優勝 長野日本大学高校(長野県)

準優勝 新潟商業高校(新潟県)

第三位 敦賀高校(福井県)

第三位 龍谷富山高校(富山県)

○女子団体予選リーグ

敦賀 2/2-3/2 星稜

敦賀 6/4-0/0 南砺福野

(予選リーグ敗退)

啓新 2/1-3/2 長野商業

啓新 6/2-4/2 高岡工業

(予選リーグ敗退)

美方 0/0-6/3 金沢桜丘

美方 0/0-7/4 呉羽

(予選リーグ敗退)

工大福井 4/3-2/1 東京学館新潟

工大福井 2/0-6/4 富山北部

(予選リーグ敗退)

敦賀気比 3/2-0/0 長野西

敦賀気比 1/0-3/2 五泉

(予選リーグ敗退)

○女子団体

優勝 五泉高校(新潟県)

準優勝 富山北部高校(富山県)

第三位 星稜高校(石川県)

第三位 羽咋高校(石川県)

第 14 回 福井県ジュニア育成強化剣道大会

令和二年二月二日(日)
於 福井県立武道館大剣道場

一年生の部

優勝 岩谷 明依 福井養正館

準優勝 忽那 海秀 福井養正館

第三位 川瀬 晃睦

江守の里少年剣道教室

第三位 鈴木 三尋

福井東部少年剣道教室



二年生男子の部

優勝 元井 汰希 福井養正館

準優勝 佐々木海緒

福井今立道場

第三位 三田村幸志郎

福井今立道場

第三位 脇本 滉大

新風館愛宕坂道場



二年生女子の部

優勝 橋本 晏利

福井今立道場

準優勝 中荒江羽未

鳥羽スポーツ少年団剣道部

第三位 向井 結衣

敦賀市剣道スポーツ少年団

第三位 今村 智穂

五常館

三年生男子の部

優勝 熊谷 薩馬 福井養正館

準優勝 岩谷 賀生 福井養正館

第三位 安達 丈留

木田剣道スポーツ少年団

第三位 山口 侑大

神山剣道スポーツ少年団

- 三年生女子の部
 優勝 木谷 珠美
 松岡少年剣道教室
- 準優勝 山本仁華利
 王子保スポーツ少年団剣道部
- 第三位 長谷川沙津紀
 向笠剣道スポーツ少年団
- 第三位 脇本 彩羽
 三国少年剣道教室
- 四年生男子の部
 優勝 山田 典悠
 福井今立道場
- 準優勝 山本 優心
 越前少年剣道クラブ
- 第三位 岸本 好誠 福井養正館



- 四年生女子の部
 優勝 中村 葵
 福井今立道場
- 準優勝 塚田 穂乃
 鯖江志士樹館道場
- 第三位 森川 瑞紀
 木田剣道スポーツ少年団
- 第三位 島田樹衣那
 王子保スポーツ少年団剣道部
- 五年生男子の部
 優勝 窪田 圭佑
 鯖江剣道スポーツ少年団
- 準優勝 松口直次郎 福井養正館



- 五年生女子の部
 優勝 赤星 心晴
 朝日少年剣道
- 準優勝 小林 真夕
 敦賀市剣道スポーツ少年団
- 第三位 中山 杏実
 みのり剣道スポーツ少年団
- 第三位 西山 倫代
 鯖江志士樹館道場
- 六年生男子の部
 優勝 矢田部 暁
 織田剣道スポーツ少年団



- 六年生女子の部
 優勝 吉村 悠里
 坂井剣道スポーツ少年団
- 準優勝 奥田 心優 福井養正館
- 第三位 山下 心優
- 鯖江剣道スポーツ少年団
- 第三位 白崎 文菜 五常館



第三位 山田 隼誠
 武生南剣道スポーツ少年団

第三位 常田和太郎 福井養正館
 第三位 出口 慧
 敦賀市剣道スポーツ少年団

準優勝 伊藤児太郎
 木田剣道スポーツ少年団

第三位 伊藤 彬
 王子保スポーツ少年団剣道部

第三位 下 寛人
 丸岡剣道スポーツ少年団

第68回全日本都道府県対抗剣道優勝大会および第12回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会
福井県選手選考会

令和二年二月二十三日(日)
於 福井県立武道館

二月二十三日(日)に福井県立武道館で開催されました「第68回全日本都道府県対抗剣道優勝大会および第12回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 福井県選手選考会」の結果は下記のとおりです。

各地区剣道連盟から推薦された男女計58名が熱戦を繰り広げました。各部門の1位が代表選手として選考されました。

男子の全日本優勝大会は四月二十九日に大阪市で、女子の全日本優勝大会は七月十二日に奈良県橿原市で開催されます。

(全日本都道府県対抗剣道優勝大会は感染症拡大防止のため中止となりました。)

【第68回全日本都道府県対抗剣道優勝大会 福井県選手選考会】

○先鋒 (高校生)

- 一位 中村翔太郎 (敦賀高校)
- 二位 内田 駿哉 (敦賀高校)
- 三位 徳橋 知輝 (敦賀高校)

三位 武内 聡希 (丸岡高校)

○次鋒 (大学生)

- 一位 楠原 北斗 (福井工業大学)
- 二位 谷口 貴大 (明治大学)
- 三位 今井 康太 (福井大学)
- 三位 内田 大樹 (大阪体育大学)

○五将 (一般18歳以上35歳未満)

- 一位 富田 成慈 (鯖江地区)
- 二位 梅田 圭仁 (福井地区)
- 三位 木瀬 将盛 (福井地区)
- 三位 嶋田 和仁 (坂井地区)

○中堅 (教職員)

- 一位 林田 匡平 (福井地区)
- 二位 渡邊龍二郎 (福井地区)
- 三位 西川 航平 (南条地区)
- 三位 三井 清喜 (福井地区)

○三将 (警察職員)

- 一位 金子 亮介 (県警察本部機動隊)
- 二位 山崎 由樹 (県警察本部機動隊)
- 三位 増田 貴彦 (県警察本部機動隊)
- 三位 佐藤 倅太 (県警察本部機動隊)

○副将 (一般35歳以上)

- 一位 脇本 一誠 (福井地区)

- 二位 米納 智弥 (坂井地区)
- 三位 相模宏二郎 (福井地区)
- 三位 田中 隆佳 (坂井地区)

○大将 (50歳以上 剣道教士7段以上)

- 一位 堀江 範雄 (坂井地区)
- 二位 松井 宏文 (敦賀地区)



【第12回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 福井県選手選考会】

○次鋒 (大学生)

- 一位 堤腰 琴菜 (立命館大学)
- 二位 伊藤こよみ (福井工業大学)
- 三位 八幡 明依 (福井工業大学)
- 三位 古屋 美咲 (福井工業大学)

○中堅 (18歳以上35歳未満)

- 一位 大西ななみ (福井地区)
- 二位 木瀬 芳江 (坂井地区)
- 三位 石水 心 (坂井地区)

○副将 (35歳以上45歳未満)

- 一位 橋本 一美 (坂井地区)

○大将 (45歳以上)

- 一位 道内由佳里 (福井地区)



※女子の副将、大将は1名のため、予選の試合はなし
※先鋒(高校生)は六月に選考予定

第42回中部地区剣道少年団研修会「体験・実践発表会」

於 令和元年十二月十一日(土)
ホテルクラウンパレス浜松

小学生の部 敢闘賞

「攻め続ける勇氣」



「今日もダメか・・・」
錬成会があるといつも思います。試合に負けるとその言葉が、僕の細い体に重くのしかかります。家族や仲間

間は、「自信を持つて」「恭吾ならでできる」というけれど、自分に自信が持てないせいでその言葉を力に変えることはできません。

僕は小学一年生の後半に剣道を始めました。きっかけは近所の友達が剣道をやっていて、友達のお母さんに、「恭吾君も剣道やってみたら」と誘われ、剣道を始めました。低学年の時は、上級者や僕よりも体の大きな子から一本をとったときはとても気持ちがよく、「次もこの調子だ！」とウキウキしました。無我夢中で相手に向かう怖さも感じませんでした。しかし高学年になるにつれてだんだんと試合で勝てなくなり、自分に自信が持てなくなっていきました。

学校生活においても自信を持ってないのは同じで、クラスの係りを決めたりするときも、ついつい下を向いてしまい、「どうか僕に係が当たりませんように」と願うことが多くなりました。

ある錬成会でのトーナメント戦でのこと、僕は副将として試合に出場しました。先鋒は

福井養正館 中郷小学校六年 前 田 恭 吾

引き分け、次鋒と中堅も引き分け、とうとう僕の番が回ってきました。結果は二本負け。チームも一回戦敗退。

「あそこでもっと攻めていれば」ずっと後悔し自分を責め続けました。先生からも、

「攻めがない」「氣迫がない」と指導され、こんな後悔したくないと思い、その後の練習試合を「よし、次は攻めはいるぞ!」と心に決めて試合場に入ると一氣に不安が大きくなってしまいます。そして続く負け試合。相手の中に攻め入れない後悔。この後悔を今まで何回し続けただろう。

ある日、今までの自分が出た大会や錬成会のビデオを見ました。ビデオを見ているとまわりから、チームメイトの声や、親の声が聞こえてくることに気づきました。すごくうれしかったです。僕のことを見ていてくれて応援してくれている。その声を聞いて涙が出ました。

「なんでも前向きに考えよう」そう心に決めました。僕は何でも後ろ向きに考えてしまいます。先生からも、「恭吾自身が変わらなさい!」と言われました。人間なんてそう簡単には変わられません。しかし変わらなくてはいけません。まず、何から変わろう?

僕は六年生ですからみんなに声を掛けな

ければならない立場にありますが、まったく声を掛けられていませんでした。

まずは声を掛けよう。「みんな声が出てないよ」「先生の言われたことちゃんとやるよ」常に声を掛けるように心掛けています。

次に何を変えよう?

「体重を増やそう!!」僕は見てのとおりガリガリ君です。

夏休みに入る前に、夏休み中に5キロ体重を増やすと決めました。世間ではダイエットに苦しむ大人の方が沢山いますが、ぜいたくな悩みです。毎日ご飯2杯とお肉を食べました。5キロまではいきませんでした。3キロ体重増量に成功しました。ちなみに親も増量したそうです。

ほかに何が変わろう? 「クラスの係りに積極的に立候補しよう!」今までは係を決める時は下を向いていましたが、顔をあげ積極的に立候補しました。

○応援リーダー、○執行委員、結果はすべて望みはかないませんでした。給食委員をしつかり努めています。今までの自分に比べると大きな一歩です。

まだまだすべてが変わり切れていませんが、「絶対自分が変わるんだ!」という気持ちがあればいつか相手に攻め込めると思います。道場の先生はよく言います。今は勝てなくてもいつか花が咲くように指導していると。僕も今はまだまだ攻められませんが、自分自身が変わること攻め続ける勇氣を持つ気持ちは前以上に強くなりました。

だからこれからも僕は攻め続けていきます。「ヤッー!」

第 42 回 中部 地区 剣道 少年 団 研修 会

「体験・実践発表会」

令和 元 年 十 二 月 十 一 日 (土)
於 ホテル クラウン パレス 浜 松

中学生の部 敢闘賞

「最大のライバルは自分」

九頭竜武徳館 森田中学校 一年 尾 崎 凌 大



中学生になり、僕の生活環境は大きく変わった。当たり前だが、小学生の頃より勉強も徐々に難しくなり、宿題も多い。部活は剣道部に入部した。

部活の稽古の後、更に道場の稽古にも通う。なかなか大変だ。学校生活ではクラスの学級委員長に選ばれた。

小学生の時、道場の先生に「自分の意見をハッキリ、しっかり言える人になろう」「この先、社会に出たらとても大事になる事だから」と言われた。

僕はこの事を思いながら、学級委員長として、クラスのみんなをまとめる事や生徒会の役員を一生懸命、頑張っている。

六年生の時に、道場のキャプテンと一緒にみんなの前で準備運動や素振り大きな声でしたり、作文を大勢の人の前で発表した経験が学級委員長をする上でとても役立っている。この経験が僕を成長させてくれたのだと思う。

剣道では僕には超えなくてはならない「壁」がある。それは、僕にとつての「ライバル」に「勝つ」事だ。

僕が勝手に「ライバル」だと思っているだけなのだが、小学生の頃から出稽古、錬成会、そして、大会と何度も、何度も対戦しているが、どうしても、どうしても「勝てない」相手だ。僕より体は小さいが、とても良く動き、すばしっこい。

中学生になって、初めての地区大会の個人戦、なんと一回戦で、またまた対戦することになった。

しかし、ここでも延長戦の末、「負け」、もう、何回負け続けているのだろう・・・

試合中、「勝ちたい」と「苦手だ」という思いが交差していた。

そして、だんだん「苦手だ」という思いが大きくなり、強くなっていった。

「たとえ、目の前の相手が、とても強い選手だろうと、絶対に負けない！という気持ちで大事」といつも道場の先生に言われているが、これだけ負け続けていると、ついつい弱気になってしまう。

・・・本当のライバルはこの弱い気持ちになる僕自身ではないだろうか？

この、苦手意識・弱気を克服出来ない限り、この先、何回試合をしても、きっと勝てないだろう。

弱い僕は「臥薪嘗胆」、目標に向かってもつともつと厳しい稽古に励み、もつともつと沢山の試合経験を積み努力する事。そして、弱い自分と試合で勝てないライバルに必ず「勝つ」事、この大きな「壁」を乗り越える事が課題だ。

中学校生活と剣道の稽古、どちらも両立できるように、努力し、僕はもつともつと成長して行きたいと思う。

剣道 称号 段位 合格者

剣道 段位 審査 会

令和 二 年 二 月 九 日 (日)
於 越 前 市 武 道 館

「初段」 三十二名

- 林 陸 (清水中一年)
- 大 西 諒太郎 (武生六中一年)
- 林 歩 夢 (明倫中一年)
- 山 本 大 翔 (中央中一年)
- 阪 井 苾 太 朗 (森田中一年)
- 塚 本 郁 人 (武生一中一年)
- 宮 下 遥 (清水中一年)
- 久 保 澄 眺 (成和中一年)
- 藤 田 元 基 (大東中一年)
- 児 玉 大 治 (清水中一年)
- 廣 部 祥 大 (至民中一年)
- 齊 藤 真 刃 (明道中一年)
- 奥 村 颯 太 (氣比中二年)
- 木 下 裕 斗 (小浜中二年)
- 堀 井 恭 一 (今庄中二年)
- 新 田 結 介 (小浜中二年)
- 苾 安 涼 太 (今庄中二年)
- 増 田 剛 人 (南越中二年)
- 佐 野 孝 精 (氣比中二年)
- 大 原 颯 真 (氣比中二年)
- 小 林 颯 斗 (今庄中二年)
- 栗 井 憂 斗 (福井高一年)
- 地 山 陽 翔 (春江中二年)
- 忠 住 理 子 (松岡中一年)

「参段」 十名
 塩田智也 (北陸高二)
 古河諒真 (啓新高二)
 田畑美奈 (金津高一)

「貳段」 十七名
 藤原日菜乃 (美方高二)
 後藤はづき (北陸高一)
 中村美翔 (啓新高一)
 上田千尋 (北陸高一)
 西出真葵 (武生中二)
 砂長谷真緒 (菅原中二)
 梅原輝莉 (武生中二)
 藤井大暉 (中央中二)
 藤井真乘 (武生中二)
 森田陽輝 (中央中二)
 岡田直樹 (藤島中二)
 宇野靖明 (南越中二)
 安達大悟 (中央中二)
 成松周哉 (松陵中二)
 野尻晃矢 (中央中二)
 坂元大煌 (武生中二)
 守大翔 (中央中二)

馬野通世 (美方高二)
 芦田一葉 (美方高一)
 豊岡希咲 (今庄中二)
 山口紗季 (今庄中二)
 赤澤琴葉 (今庄中二)
 上坂菜摘 (鯖江中二)
 前田梨帆 (大東中二)
 窪田咲月 (鯖江中二)



「五段」 二名
 小谷佳己 (警察官)
 北林直樹 (公務員)

「四段」 六名
 山中誠也 (福井大三年)
 畑手雅守 (公務員)
 嶋田和仁 (会社員)
 高木良平 (公務員)
 山口良創 (会社員)
 藤井智宏 (自営業)

細井真也 (会社員)
 平辻喜和 (教員)
 土久大介 (会社員)
 手賀太郎 (公務員)
 河原弘幸 (会社員)
 河原康太 (美方高二)
 惠阪大輝 (福井高二)

武生南剣道スポーツ少年団は、昭和五十六年に設立し、三十八年もの歴史があります。現在男子六名、女子四名が在籍し、団旗に掲げる「忍耐」の言葉を胸に、週三回の稽古に励んでいます。

団の活動として、各種大会への参加、交流チームとの合同稽古、合宿、レクレーションなども行っています。

日々の稽古の中では、基本に忠実な打突を行うことを重視しています。また剣道技術の向上だけではなく、礼儀正しく、常に周りの人への感謝の気持ちを持てる人になるよう心身の鍛錬にも努めております。



みんなの広場

武生南剣道スポーツ少年団

武生南剣道スポーツ少年団は、昭和五十六年に設立し、三十八年もの歴史があります。現在男子六名、女子四名が在籍し、団旗に掲げる「忍耐」の言葉を胸に、週三回の稽古に励んでいます。

剣道部・クラブ紹介

団設立四十周年に向け、指導者・団員・保護者が一丸となって頑張っていますので、今後ともご指導の程、宜しくお願いたします。

【福井県剣道連盟事務局に質問などをお寄せください】

宛先 福井県剣道連盟 〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18 サンライズ二の宮 1-B
 メールアドレス fkikendo@herb.ocn.ne.jp TEL・FAX(0776)28-6616